

台湾・高雄市医師会・小児科医会から福岡地区小児科医会/福岡県への医療器具贈呈

国際委員会 進藤静生

2020年4月コロナ禍の最中、日本ではマスク、ゴーグルやエプロンなどの医療機器が医療現場では不足しているとの報道が台湾にも伝わり、国際委員会の活動の中で交流のある高雄小児科医会会長で、高雄市医師会会長でもある頼聰宏先生から「福岡地区小児科医会で何か必要な医療機器はありませんか」とのメールをいただきました。

早速、福岡地区小児科医会会長である黒川美知子先生に相談いたしましたところ、マスク、ゴーグル、エプロンが一線の医療現場では不足しているとのことでした。

その旨頼聰宏会長にお伝えいたしましたら、N-95マスクは難しいが、ゴーグルとエプロンを600セットをお送り頂けるとのお返事でした。

そこで、福岡県庁新型コロナウイルス感染症対策本部の調整本部に出務されている日本小児科医会理事でもある稲光毅先生とも相談し、5月連休前にはゴーグルとエプロンなどを、ついで6月にはN95マスクを福岡県庁にお送りいただき、不足が著しい医療現場に配布いたしました。

写真は台湾・高雄からのメールおよび5月21日福岡県庁での贈呈式の様子です。

この度の国際協力事業は、日本小児科医会の国際委員会の活動を支援して頂いた日本小児科医会会員の深いご理解のおかげと感謝しております。

誠にありがとうございました。

台湾・高雄市医師会・小児科医会よりの医療器具贈呈



高雄医師会・小児科医会からのメッセージ



頼聰宏会長および高雄小児科医会の先生方の Facebook 写真より

多謝！！



福岡縣廳 福岡地区兒科醫会



5月21日、稲光毅福岡県医師会理事と福岡県庁での飯田幸生保健医療介護部長への贈呈式